

1.	①	11.	③	21.	②	31.	③	41.	①
2.	②	12.	③	22.	①	32.	④	42.	②
3.	②	13.	①	23.	①	33.	④	43.	①
4.	④	14.	④	24.	④	34.	④	44.	②
5.	①	15.	③	25.	①	35.	③	45.	④
6.	②	16.	①	26.	①	36.	④	46.	③
7.	④	17.	④	27.	①	37.	②	47.	①
8.	④	18.	④	28.	④	38.	④	48.	③
9.	④	19.	④	29.	②	39.	③	49.	①
10.	①	20.	①	30.	②	40.	③	50.	③

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を守る、保護する」です。動詞の`protect`は、危険、損害、病気といった好ましくないものから、人や物を安全な状態に保つことを意味します。`It is our duty to protect endangered species.`（絶滅危惧種を保護することは我々の義務だ）。②「～を防ぐ」は`prevent`で、何かが起こらないようにする、という意味合いが強いです。③「～を提供する」は`provide`、④「～を予測する」は`predict`が適切な単語です。

◆補足：`protect A from B`の形で「B（危険など）からA（守る対象）を守る」という構文は必須です。`This helmet is designed to protect your head from injury.`（このヘルメットは、あなたの頭を怪我から守るように設計されている）。名詞形は`protection`（保護）、形容詞形は`protective`（保護する、保護用の）です。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②の`police`で、「警察」を意味します。文法的に非常に重要なポイントは、`police`は集合名詞として、常に複数として扱われることです。そのため、動詞は`are`、`were`、`have`など複数形に一致させます。`The police have arrested a suspect.`（警察は容疑者を逮捕した）。他の選択肢は、

①`policy`が「政策、方針」、③`polite`が「礼儀正しい」、④`palace`が「宮殿」という意味です。

◆補足：一人の警察官を指す場合は`a police officer`と言います。複数形は`two police officers`のようになります。`police`という単語自体は`s`を付けずに複数扱いになる、という点をしっかり覚えておきましょう。「警察署」は`a police station`です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②の`independent`で、「独立した、自立した」という意味の形容詞です。他からの支配、援助、影響などを受けずに、自分の力や考えで成り立っている状態を表します。`India became an independent country in 1947.`（インドは1947年に独立国となった）。他の選択肢は、①`different`が「異なる」、③`difficult`が「難しい」、④`indifferent`が「無関心な、冷淡な」という意味です。

◆補足：`independent`は、動詞`depend`（頼る、依存する）に、否定の`in-`と、性質を表す`-ent`が付いた形です。「頼っていない」→「自立した」と単語の成り立ちから意味を推測できます。名詞形は`independence`（独立、自立）です。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「医療」です。`medical care`は、病気やけがの診断、治療、予防など、医師や看護師といった専門家によって提供されるサービス全般を指します。`The high cost of medical care is a serious problem in some countries.`（医療費の高さは、いくつかの国で深刻な問題だ）。①「健康保険」は`health insurance`、②「救急車」は`ambulance`、③「処方箋」は`prescription`がそれぞれ適切な単語です。これらはすべて医療に関連する重要な語彙です。

◆補足：`medical`は「医学の、医療の」という形容詞、`care`は「世話、手入れ、配慮」という名詞です。この二つが組み合わさって「医療」という複合名詞になっています。コロケーションとしては、`receive medical care`（医療を受ける）や`provide medical care`（医療を提供する）などがあります。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「基礎の、基本的な」です。`basic`は、物事の出発点となる、最も重要で根本的な部分を指す形容詞です。`This book explains the basic principles of economics.`（この本は経済学の基本原則を説明している）。②「進んだ、上級の」は`advanced`で、`basic`の対義語にあたります。③「特有の」は`specific`、④「全体の」は`whole`が適切な単語です。

◆補足：`basic`は名詞として`the basics`の形で「基礎、基本」を意味することもあります。`Let's start with the basics.`（基本から始めましょう）。副詞形は`basically`（基本的に、要するに）で、会話で頻繁に使われます。`Basically, it's the same thing.`（要するに、それは同じことです）。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②の`major`で、形容詞として「(他と比べて) 大きい、主要な、重大な」、名詞として「(大学の) 専攻」という二つの重要な意味があります。形容詞の例: `The lack of parking is a major issue for this area.` (駐車場不足はこの地域の主要な問題だ)。名詞の例: `Her major is international relations.` (彼女の専攻は国際関係学だ)。他の選択肢は、①`minor`が`major`の反意語で「小さいほうの、重要でない」、③`mayor`が「市長」、④`maker`が「製造者」という意味です。

◆補足: `major`は動詞として`major in ~`の形で「~を専攻する」という意味でも頻繁に使われます。`I decided to major in computer science.` (私はコンピュータ科学を専攻することに決めた)。名詞形の`majority` (大多数、過半数) も非常に重要な単語です。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の`balanced`で、「バランスのとれた、均衡のとれた」という意味の形容詞です。複数の要素が適切な割合で調和し、安定している状態を表します。`A balanced meal should include a variety of foods.` (バランスの取れた食事は、様々な食品を含むべきだ)。他の選択肢は、①`based`が「~に基づいた」、②`banned`が「禁止された」、③`basic`が「基本的な」という意味です。

◆補足: `balanced`は、動詞`balance` (〜のバランスをとる) の過去分詞形が形容詞として使われているものです。名詞の`balance` (バランス、均衡) ももちろん重要です。`It's important to keep a balance between work and private life.` (仕事と私生活のバランスを保つことが重要だ)。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④の`force`で、名詞として「(物理的な) 力、武力」、動詞として「~に…することを強制する、強いる」という意味を持ちます。`The force of the explosion broke all the windows.` (爆発の力で全ての窓が割れた)。`The bad weather forced us to cancel our trip.` (悪天候のため、私たちは旅行を中止せざるを得なかった)。他の選択肢は、①`form`が「形、形式」、②`fork`が「フォーク」、③`focus`が「焦点、集中する」という意味です。

◆補足: 動詞として使う場合、`force A to do`の形で「Aに(意に反して) ~させる」という構文がよく使われます。類義語の`power`や`strength`と比べ、`force`は特に物理的な力や強制力を指すニュアンスが強いです。`the police force`で「警察(部隊)」を意味することもあります。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「眠りに落ちる」です。`fall asleep`は、起きている状態から眠りに入るという「動作」を表す熟語です。`I tried to read a book, but I fell asleep in five minutes.`（本を読もうとしたが、5分で眠りに落ちてしまった）。①「恋に落ちる」は`fall in love`、②「病気になる」は`fall ill`や`get sick`、③「時代遅れになる」は`fall behind the times`がそれぞれ適切な表現です。これらはすべて`fall`を使った重要な熟語です。

◆補足：`fall`の活用は`fall - fell - fallen`です。過去形の`fell asleep`（眠りに落ちた）の形で使われることも非常に多いです。次の単語`asleep`（眠っている）は状態を表す形容詞で、`fall asleep`（動作）と`be asleep`（状態）の区別が重要になります。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①の`individual`で、形容詞として「個々の、それぞれの」、名詞として「個人」という意味を持ちます。集団（`group`）と対比して、一人ひとり、一つひとつに焦点を当てる言葉です。形容詞の例：`We provide individual lessons to meet each student's needs.`（私たちは各生徒のニーズに応えるため、個人レッスンを提供しています）。名詞の例：`He is a very creative individual.`（彼はとても創造的な個人だ）。他の選択肢は、②`industrial`が「産業の」、③`indivisible`が「分割できない」、④`internal`が「内部の」という意味です。

◆補足：`individual`の`divid`の部分は、動詞`divide`（分割する）と関連しています。否定の`in-`がついて「これ以上分割できない単位」→「個人」というニュアンスにつながっています。副詞形は`individually`（個々に、別々に）です。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③の`medical`で、「医学の、医療の」という意味の形容詞です。医学や医療に関連することを表し、他の名詞を修飾して使われます。`She is a student at a famous medical school.`（彼女は有名な医学校の学生だ）。他の選択肢は、①`mental`が「精神の、知的な」、②`magical`が「魔法の、不思議な」、④`mechanical`が「機械の、機械的な」という意味です。

◆補足：`medical`は、名詞`medicine`（医学、薬）の形容詞形です。このように、名詞形と形容詞形を関連付けて覚えると、効率的に語彙を増やすことができます。コロケーションとしては、`medical`

equipment` (医療機器)、`medical examination` (診察)、`medical history` (病歴) などがあります。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「品目、項目」です。`item`は、リストや集まり、コレクションの中の一つひとつの「品目、項目、品物」を意味する名詞です。買い物リストの品物、議題の項目、ニュースの項目など、様々な個別の要素を指すことができます。`Please check all the items on the list.` (リストの全項目を確認してください)。①「考え」は`idea`、②「全体」は`whole`、④「理想」は`ideal`が適切な単語です。

◆補足：`item`は数えられる名詞なので、複数形は`items`となります。`several items of clothing` (数点の衣類) のように、具体的な品物を指して使われることも多いです。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「(風が) 吹く」です。動詞の`blow`は、風が動いている様子を表す最も基本的な単語です。`A cool breeze was blowing from the sea.` (涼しいそよ風が海から吹いていた)。また、「～を吹き飛ばす」(`blow something away`)や、「(笛などを) 吹く」「(鼻) をかむ」(`blow one's nose`)といった意味もあります。②「輝く」は`shine`、③「落ちる」は`fall`、④「流れる」は`flow`が適切な単語です。

◆補足：`blow`の活用は`blow - blew - blown`という不規則動詞です。過去形や過去分詞形が使われる文でも意味が理解できるように、活用形もしっかり覚えておきましょう。`The typhoon blew down many trees.` (台風が多くの木をなぎ倒した)。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④「上司、ボス」です。`boss`は、職場などで自分よりも地位が上で、自分に指示を出す立場にある人を指す、やや口語的な言葉です。`My boss is very strict but fair.` (私のボスはとても厳しいが公平だ)。①「部下」は`subordinate`や`staff`、②「顧客」は`customer`や`client`、③「社長」は`president`がそれぞれ適切な単語です。社長も上司の一種ですが、より直接的な監督者を指して`boss`が使われることが多いです。

◆補足：`boss`は動詞として「～に威張りちらす、指図する」という意味でも使われます。`Stop bossing me around!`（私に威張って指図するのはやめて！）。形容詞形は`bossy`（威張り散らす）で、人の性格を表すのに使われます。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③の`asleep`で、「眠って、眠っている」という状態を表す形容詞です。この単語の大きな特徴は、名詞の前には置けず（限定用法不可）、`be`動詞`の後ろなどで主語の状態を説明する（叙述用法）という点です。`The dog was fast asleep on the sofa.`（その犬はソファでぐっすり眠っていた）。他の選択肢は、①`sleep`が動詞「眠る」または名詞「睡眠」、②`sleepy`が形容詞「眠い」、④`sleeping`が「眠っている」という現在分詞です。

◆補足：`a sleeping baby`（眠っている赤ちゃん）のように、`sleeping`は名詞を修飾できますが、`an asleep baby`とは言えません。`The baby is sleeping.`（現在進行形）と`The baby is asleep.`（状態を表す形容詞）はほぼ同じ意味ですが、品詞が違うことを理解しておく、より正確な英語が使えるようになります。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を上げる、育てる、集める」です。`raise`は多くの意味を持つ他動詞で、目的語を必要とします。準2級レベルでは主に三つの意味を押さえましょう。①「（手や物）を上げる」（`raise your hand`）、②「（子供や動物）を育てる」（`raise children`）、③「（資金など）を集める」（`raise money`）です。②「上がる」は自動詞の`rise`、③「横になる」は`lie`、④「残る」は`remain`が適切な単語です。

◆補足：`raise`と`rise`の使い分けは非常に重要です。`raise`は「～を上げる」という目的語をとる他動詞、`rise`は「（太陽などが）上がる」という目的語をとらない自動詞です。`The government decided to raise taxes.`（政府は税金を上げることを決定した）。`The sun rises in the east.`（太陽は東から昇る）。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④の`generation`で、主に二つの意味があります。一つは、ほぼ同じ時代に生まれ育った人々の集団、つまり「世代」です。もう一つは、電気や熱などのエネルギーの「発生」です。`My parents`

generation has a different way of thinking.`（私の両親の世代は考え方が違う）。`The country relies on nuclear power generation.`（その国は原子力発電に依存している）。他の選択肢は、①`graduation`が「卒業」、②`general`が「一般的な、大将」、③`genetics`が「遺伝学」という意味です。

◆補足：動詞形は`generate`（～を発生させる、生み出す）です。コロケーションとしては、`a generation gap`（世代間格差）、`the younger generation`（若い世代）、`power generation`（発電）などがあります。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④の`introduction`で、「紹介」や「導入」を意味する名詞です。人や物事を初めて他の人に知らせる「紹介」や、本やスピーチの冒頭の「導入部分」、新しい制度などの「導入」といった幅広い意味で使われます。`The book begins with a brief introduction to the author's life.`（その本は著者の人生の簡単な紹介から始まっている）。他の選択肢は、①`interaction`が「交流、相互作用」、②`invention`が「発明」、③`instruction`が「指示、取扱説明書」という意味です。

◆補足：`introduction`の動詞形は`introduce`（～を紹介する、～を導入する）です。`introduce A to B`の形で「AをBに紹介する」という構文は必須です。`He introduced his girlfriend to his parents.`（彼はガールフレンドを両親に紹介した）。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「活動的な、積極的な」です。`active`は、じっとしているのではなく、身体的または精神的に活発に動いたり、物事に進んで参加したりする様子を表す形容詞です。`It's important for elderly people to stay physically active.`（高齢者が身体的に活動的であることは重要だ）。①「注意深い」は`attentive`や`careful`、②「魅力的な」は`attractive`、③「正確な」は`accurate`が適切な単語です。

◆補足：`active`の名詞形は`activity`（活動）です。`She is involved in various volunteer activities.`（彼女は様々なボランティア活動に参加している）。対義語は`inactive`（不活発な）や`passive`（受動的な）です。`be active in ～`で「～で活発に活動している」となります。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①の`community`で、「地域社会、共同体」を意味します。同じ地域に住む人々の集まりや、共通の関心、文化、目的などによって結びついた人々の集団を指します。`He is actively involved in his`

local community.`(彼は地元の地域社会に積極的に関わっている)。他の選択肢は、②`company`が「会社」、③`communication`が「コミュニケーション」、④`country`が「国」という意味です。

◆補足：`community`は、`the local community`(地域社会)や`the international community`(国際社会)、`the online community`(オンラインコミュニティ)のように、様々な規模の集団を指すことができます。コロケーションとしては、`a sense of community`(共同体意識)や`community service`(社会奉仕活動)などがあります。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②の`set`で、「～を置く、設置する」や「(目標・規則などを)設定する」、「(目覚ましなどを)セットする」など、非常に多くの意味を持つ基本動詞です。`He set the vase on the table.`(彼は花瓶をテーブルの上に置いた)。`The company has set a new sales target.`(その会社は新しい販売目標を設定した)。他の選択肢は、①`sit`が自動詞で「座る」、③`seat`が他動詞で「～を座らせる」、④`get`が「～を得る」という意味です。

◆補足：`set`は活用が`set - set - set`と変化しないのが特徴です。また、`set up`(設立する、準備する)、`set off`/`out`(出発する)など、句動詞としても数多く使われます。`a set of`～で「～の一式、一揃い」という名詞の用法も重要です。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「経歴、職業」です。`career`は、人が一生のうちで(特に専門的な)仕事に従事する期間やその道筋、つまり「経歴、キャリア」や、その「職業」そのものを指す名詞です。`He chose a career in medicine.`(彼は医療の道を選んだ)。②「性格」は`character`、③「運搬人、航空会社」は`carrier`、④「馬車」は`carriage`です。これらはつづりが似ていて紛らわしいので、意味とセットで正確に覚えましょう。

◆補足：単なる`job`(仕事)や`work`(労働)と違い、`career`は長期的な視点での職業人生というニュアンスが強い単語です。コロケーションとしては、`a career path`(キャリアパス、出世の道筋)、`change one's career`(転職する)、`career development`(キャリア開発)などがあります。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①「請求書、勘定書、法案、紙幣」です。`bill`は複数の重要な意味を持つ名詞です。準2級レベルでは、①レストランなどの「請求書、勘定書」(`Could I have the bill, please?`)、②議会に提出される「法案」(`The new bill was passed.`)、③(特にアメリカ英語での)「紙幣」(`a five-dollar bill`)という三つの意味をしっかりと押さえておくことが重要です。②「硬貨」は`coin`、③「小切手」は`check`、④「建物」は`building`です。

◆補足：イギリス英語では「勘定書」は`bill`ですが、「紙幣」は`note`と言うのが一般的です(例: `a ten-pound note`)。また、鳥の「くちばし」も`bill`と言います。文脈に応じてどの意味で使われているかを判断する力が必要です。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「たとえ…だとしても」です。`even if...`は接続詞句で、起こる可能性が低い、あるいは事実とは異なる仮定の条件を導入し、その条件にもかかわらず主節の事柄が成り立つことを示します。`I will go to the party, even if I have to go alone.`(たとえ一人で行かなければならないとしても、私はそのパーティーに行きます)。①「まるで…のように」は`as if ...`、②「…するとすぐに」は`as soon as ...`、③「…である限りは」は`as long as ...`です。

◆補足：`even if`と`even though` (…だけれども)は似ていますが、大きな違いがあります。`even though`が実際に起こった事実(`Even though it was raining, he went out.`)を述べるのに対し、`even if`はまだ起こっていない仮定の話(`Even if it rains, I will go out.`)をするのが基本です。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「機会、好機」です。`opportunity`は、何かをするのに都合の良い状況やタイミング、つまり「チャンス」を意味する名詞です。特に、キャリアアップや自己成長につながるような、価値ある機会というニュアンスで使われることが多いです。`Studying abroad is a great opportunity to learn a new language and culture.`(留学は新しい言語と文化を学ぶ絶好の機会だ)。②「意見」は`opinion`、③「操作」は`operation`、④「反対」は`opposition`です。

◆補足：`opportunity`と`chance`はどちらも「機会」と訳せますが、`opportunity`の方がよりフォーマルで、努力して得るべき「好機」というニュアンスが強いです。一方、`chance`は「偶然の機会」や「可能性」という意味でも使われます。コロケーションとしては、`seize an opportunity` (機会を掴む)、`miss an opportunity` (機会を逃す) などがあります。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「弁護士」です。`lawyer`は、法律に関する専門的な訓練を受け、依頼人に法的助言を与えたり、法廷で代理人を務めたりする法律専門家を指す一般的な言葉です。`If you have a legal problem, you should consult a lawyer.`（もし法的な問題を抱えているなら、弁護士に相談すべきだ）。②「法律」は`law`、③「低い」は`low`、④「忠実な」は`loyal`です。これらは発音やスペルが似ていて紛らわしいので、注意が必要です。

◆補足：`lawyer`は名詞の`law`（法律）に、人を表す接尾辞`-yer`が付いてできた単語です。アメリカ英語では`attorney`という単語も「弁護士」として一般的に使われます。イギリス英語では、法廷に立つ弁護士を`barrister`、それ以外の法務を扱う弁護士を`solicitor`と区別することがあります。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①の`apartment`で、「アパート、マンション」など、集合住宅の一戸を指す言葉です。特にアメリカ英語で一般的に使われます。`He is looking for a two-bedroom apartment near the station.`（彼は駅の近くで寝室が二つあるアパートを探している）。他の選択肢は、②`department`が「(会社や大学の) 部門、学部」や「(デパートの) 売り場」、③`appointment`が「(医者などの) 予約、約束」、④`agreement`が「同意、合意」という意味で、つづりが似ていますが意味は異なります。

◆補足：イギリス英語では、同様の集合住宅を`flat`と呼ぶのが一般的です。`an apartment building`または`a block of flats`で「アパート (の建物全体)」を指します。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④の`receive`で、「～を受け取る、受領する」という意味の動詞です。手紙、贈り物、情報、教育、影響など、有形無形の様々なものを「受け取る」際に幅広く使われます。`All participants will receive a certificate.`（参加者全員が証明書を受け取ります）。他の選択肢は、①`relieve`が「(苦痛など) を和らげる」、②`retrieve`が「(失くしたものなど) を取り戻す、回収する」、③`review`が「～を復習する、見直す」という意味です。

◆補足：`receive`は`get`よりもフォーマルな響きを持つ単語です。名詞形は`receipt`（レシート、領収書）ですが、この単語の`p`は発音しない黙字（サイレントレター）なので注意が必要です。受付係は`receptionist`、受付は`reception`です。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②の`noise`で、「騒音、物音、雑音」を意味します。特に、大きくて不快な、あるいは意味のない音を指すことが多いです。`I was woken up by a loud noise from outside.`（私は外からの大きな物音で目が覚めた）。他の選択肢は、①`nose`が「鼻」、③`notice`が「通知、注目」、④`voice`が人の「声」という意味です。`voice`は意味のある音ですが、`noise`はそうでない場合が多いです。

◆補足：形容詞形は`noisy`（騒々しい、うるさい）です。`My new apartment is in a very noisy area.`（私の新しいアパートはとても騒々しい地域にある）。`noise`は通常、数えられない名詞として扱いますが、`a strange noise`（奇妙な物音）のように、特定の種類の音を指す場合は数えられる名詞として使われます。`make a noise`（物音を立てる）。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「厳しい、深刻な」です。`severe`は形容詞で、天候、痛み、問題、批判などの程度が非常に激しい、または極めて好ましくない状態を表します。`The country is facing a severe economic crisis.`（その国は深刻な経済危機に直面している）。①「いくつかの」は`several`、③「安全な」は`secure`や`safe`、④「分離した」は`separate`が適切な単語です。

◆補足：`severe`は、人に対して使うと「厳格な、容赦ない」という意味になります。`a severe punishment`（厳しい罰）。副詞形は`severely`（厳しく、ひどく）で、`He was severely injured in the accident.`（彼はその事故で重傷を負った）のように使われます。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③の`solution`で、「（問題などの）解決策」や「（数学などの）解答」を意味します。困難な状況や課題に対する答えや対応策を指します。`There is no easy solution to this complex problem.`（この複雑な問題に簡単な解決策はない）。他の選択肢は、①`selection`が「選択、精選品」、②`situation`が「状況、事態」、④`suggestion`が「提案」という意味です。

◆補足：`solution`の動詞形は`solve`（～を解決する、解く）です。`We need to solve this issue as soon as possible.`（我々はこの問題をできるだけ早く解決する必要がある）。コロケーションとしては、`find a solution`（解決策を見つける）や`offer a solution`（解決策を提示する）などがよく使われます。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の`valuable`で、「高価な」または「(金銭的な価値以上に) 貴重な、役立つ」という意味の形容詞です。`The museum contains many valuable works of art.` (その美術館は多くの貴重な芸術作品を所蔵している)。`Thank you for your valuable feedback.` (貴重なご意見ありがとうございます)。他の選択肢は、①`available`が「利用できる、入手できる」、②`variable`が「変わりやすい」、③`visible`が「目に見える」という意味です。

◆補足：`valuable`は名詞`value` (価値) の形容詞形です。面白いことに、否定の接頭辞`in-`が付いた`invaluable`は、「価値がない」ではなく、「価値がつけられないほど非常に貴重な」という、さらに強い肯定の意味になります。`His support was invaluable to our success.` (彼のサポートは我々の成功にとって計り知れないほど貴重だった)。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の`type`です。名詞として「型、タイプ、種類」、動詞として「(キーボードで) 文字を打つ」という二つの重要な意味があります。名詞の例: `This store sells various types of cheese.` (この店は様々な種類のチーズを売っている)。動詞の例: `How fast can you type?` (どのくらいの速さでタイプできますか?)。他の選択肢の①`kind`や②`sort`も「種類」を意味する名詞ですが、動詞の意味はありません。③`tape`は「テープ」です。

◆補足：`type`は、`a type of ~`で「~の一種」という意味になります。`a new type of virus` (新型ウイルス)。コンピュータの`type`という動詞は、昔の「タイプライター(`typewriter`)」で文字を打つことから来ています。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の`personal`で、「個人の、私的な」という意味の形容詞です。`public` (公の) とは対照的に、特定の個人に関することを示します。`This is my personal opinion, not the company's.` (これは会社の意見ではなく、私の個人的な見解です)。他の選択肢は、①`personnel`が「(集合的に) 職員、人事部」、②`person`が名詞で「人、個人」、③`partial`が「部分的な、えこひいきする」という意味です。

◆補足：`personal`は名詞`person` (人) の形容詞形です。副詞形は`personally` (個人的に、個人的には) で、自分の意見を述べるときに`Personally, I think...`のように前置きとして使われます。コロケーション: `personal information` (個人情報)、`personal belongings` (私物)。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「最終的に、結局は」です。`eventually`は、いろいろな出来事や長い時間が経過した末に、「やがて、最終的には」ある結果に至ったことを示す副詞です。`We argued a lot, but eventually we reached a compromise.`（私たちは大いに議論したが、最終的に妥協点に達した）。①「特に」は`especially`、②「偶然に」は`accidentally`、④「効果的に」は`effectively`です。

◆補足：`eventually`は`finally`や`in the end`と意味が似ていますが、`eventually`は、それまでの過程がどうであれ、単に「時間が経った結果として」というニュアンスで使われることが多いです。形容詞形は`eventual`（最終的な）です。`the eventual winner`（最終的な勝者）。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④「装置、機器」です。`device`は、特定の目的のために作られた「装置、機器、道具」を意味する名詞です。特に、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末のような、比較的小さな電子機器を指す文脈で使われることが増えています。`This new device allows you to control your home appliances remotely.`（この新しい機器を使えば、家電を遠隔操作できます）。①「助言」は`advice`、②「設計」は`design`、③「分割」は`division`が適切な単語です。

◆補足：動詞形は`devise`（ディヴァイズ）で、「～を考案する、工夫する」という意味です。名詞の`device`（デバイス）とは発音もスペルも異なるので注意が必要です。コロケーションとしては、`a mobile device`（携帯端末）、`an electronic device`（電子機器）、`a smart device`（スマートデバイス）などがあります。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②の`practice`で、名詞として二つの主要な意味があります。一つは、スポーツや楽器などの技能を向上させるための「練習」です。もう一つは、社会や特定のグループで一般的に行われている「習慣、慣行」です。`You need more practice to become a good player.`（良い選手になるにはもっと練習が必要だ）。`It is a common practice to exchange business cards in Japan.`（日本では名刺を交換するのが一般的な慣行だ）。他の選択肢は、①`promise`が「約束」、③`process`が「過程、工程」、④`produce`が動詞で「～を生産する」、名詞で「農産物」を意味します。

◆補足：動詞の`practice`は「～を練習する」という意味です。イギリス英語では、名詞は`practice`、動詞は`practise`と綴り分けるのが一般的ですが、アメリカ英語ではどちらも`practice`です。ことわざの`Practice makes perfect.`（習うより慣れよ）は覚えておきましょう。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④の`make a decision`で、「決定する、決心する」という意味です。これは動詞`decide`とほぼ同じ意味ですが、よりフォーマルな響きがあったり、熟考の末に一つの結論を出すというプロセスを強調したりすることがあります。`We need to make a decision about where to go for our vacation.`

(私たちは休暇にどこへ行くかについて決定する必要がある)。他の選択肢は、①`make a difference`が「変化をもたらす、重要である」、②`make a mistake`が「間違いを犯す」、③`make an effort`が「努力する」という、それぞれ`make`を使った重要なコロケーションです。

◆補足：`make a decision`は`make`+`名詞`の形をとるコロケーションの代表例です。他にも`make a speech`（スピーチする）や`make a promise`（約束する）など、基本的な動詞と名詞の組み合わせで動作を表す表現は数多くあります。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③の`whenever`です。この単語は主に二つの意味で使われます。一つは「～するときはいつでも」という譲歩を表す接続詞としての用法です。`You can visit me whenever you want.`（来たいときにはいつでも私を訪ねていいですよ）。もう一つは、疑問詞`when`を強調して驚きやいらだちを表す「一体いつ」という意味です。`Whenever will you finish that noise?`（一体いつその騒音をやめてくれるんだ?）。他の選択肢は、①`whatever`が「～するものは何でも」、②`wherever`が「～するところはどこでも」、④`however`が「しかしながら」という意味です。

◆補足：接続詞としての`whenever`は`at any time when ...`とほぼ同じ意味を表します。`I feel happy whenever I listen to this song.`（この歌を聴くときはいつでも幸せな気分になる）。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「～に偶然出会う、～を偶然見つける」です。`come across`（～）は、予期せずに人や物にばったり遭遇する状況を表す熟語です。`I came across some old photographs while cleaning my room.`（部屋を掃除しているときに、偶然古い写真を見つけた）。①「～を理解する」は`understand`や`figure out`、②「～を思いつく」は`come up with`、④「～を訪問する」は`visit`や`come over`が適切な表現です。

◆補足：`come across`は`run into`とほぼ同じ意味で使うことができます。目的語は`come`と`across`の間に置かず、必ず後ろに置く（`come across an old friend`）のがポイントです。また、`come across as`～の形で「～という印象を与える」という意味でも使われます。`She comes across as a very confident person.`（彼女はとても自信家な印象を与える）。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①の`warn`で、「～に警告する、注意する」という意味の動詞です。これから起こるかもしれない危険や、望ましくない事態について、事前に知らせることを表します。`The weather forecast warned of heavy rain and strong winds.`（天気予報は大雨と強風を警告した）のように使います。他の選択肢は、②`worry`が「～を心配させる」、③`wound`が「～を傷つける」（特に武器などで）、④`wonder`が「～かなと思う、不思議に思う」という意味で、いずれも`w`で始まりますが意味は異なります。

◆補足：`warn`は、`warn A of/about B`（AにBについて警告する）や`warn A not to do`（Aに～しないよう警告する）といった構文でよく使われます。`The police warned drivers not to speed.`（警察はドライバーにスピードを出しすぎないように警告した）。名詞形は`warning`（警告）で、`a final warning`（最終警告）のように使われます。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②の`on one's way (to ~)`で、「(～へ行く) 途中で」という意味です。`one's`の部分には`my`、`your`、`his`、`her`などの所有格が入ります。目的地に向かっている道中であることを示します。`I bought some bread on my way home.`（私は家に帰る途中でパンを買った）。他の選択肢は、①`by the way`が「ところで」、③`in a way`が「ある意味では」、④`in the way`が「邪魔になって」という、それぞれ`way`を使った重要な熟語です。

◆補足：`I'm on my way.`は「今向かっているところです」という、待ち合わせの際などに電話で伝える定番のフレーズです。目的地が明らかな場合は`to ~`の部分は省略されます。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「～する能力がある」です。`be capable of`～は、人や物が、何かを成し遂げるための潜在的な力や資質、性能を持っていることを表す熟語です。`This computer is capable of processing huge`

amounts of data.」（このコンピュータは膨大な量のデータを処理する能力がある）のように使います。

②「～する自信がある」は`be confident of ～`、③「～する責任がある」は`be responsible for ～`、

④「～する価値がある」は`be worthy of ～`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`be capable of doing`のように、`of`の後ろには名詞または動名詞(-ing 形)が来ます。`be able to do`（～することができる）と意味が似ていますが、`be capable of`の方が、より潜在的な能力や資質を指すニュアンスで使われることがあります。名詞形は`capability`（能力、性能）です。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②「支払い、報酬」です。`payment`は、商品やサービスに対してお金を支払う行為、または支払われるお金そのものを指す名詞です。`Please make the payment within 30 days.`（30 日以内にお支払いください）。①「患者」は`patient`、③「我慢、忍耐」も同じスペルの`patience`、④「親」は`parent`です。発音が似ている単語は、意味だけでなく発音記号も確認すると区別しやすくなります。

◆補足：`payment`は動詞`pay`（支払う）の名詞形です。`-ment`は動詞に付いて名詞を作る一般的な接尾辞で、`enjoyment`（楽しみ）や`development`（発達）など多くの例があります。コロケーションとしては、`payment method`（支払い方法）、`make a payment`（支払いをする）、`down payment`（頭金）などがあります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④の`measure`で、動詞として「～を測る、測定する」、名詞として「対策、措置」という二つの重要な意味があります。動詞の例：`I measured the temperature of the water.`（私は水の温度を測った）。名詞の例：`The government announced new measures to combat unemployment.`（政府は失業と闘うための新しい対策を発表した）。他の選択肢は、①`major`が「主要な、専攻する」、②`mix`が「～を混ぜる」、③`treasure`が「宝物」という意味です。

◆補足：名詞の`measure`には「ものさし、計量カップ」や「程度、基準」という意味もあります。特に`take measures`（対策を講じる）というコロケーションは非常に重要で、ニュースや論文などで頻繁に使われます。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の`branch`で、二つの主要な意味があります。一つは、木の幹から分かれて伸びる「枝」です。もう一つは、大きな組織から分かれた「支店、支社」です。木の枝が分かれていく様子から、会社が枝分かれして支店になる、とイメージを結びつけると覚えやすいでしょう。`There's a bird's nest on a branch of that pine tree.`（あの松の木の枝に鳥の巣がある）。`Our company is planning to open a new branch in Osaka.`（我が社は大阪に新しい支店を開く計画だ）。他の選択肢は、①`bunch`が「(花などの)束」、②`bench`が「ベンチ」、④`breach`が「(契約などの)違反」という意味です。

◆補足：`branch out`という句動詞は「(事業などを)拡大する、新しい分野に進出する」という意味で使われます。`The bookstore has branched out into selling stationery.`（その書店は文房具の販売へと事業を拡大した）。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「指導員、インストラクター」です。`instructor`は、スポーツや運転、語学など、特定の技能や知識を教える専門家を指す名詞です。日本語の「インストラクター」とほぼ同じ意味で使えます。`I hired a private ski instructor for my son.`（私は息子のために個人のスキー指導員を雇った）。②「発明家」は`inventor`、③「投資家」は`investor`、④「検査官」は`inspector`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`instructor`は動詞`instruct`（～を指示する、教える）から派生した言葉です。一般的な「先生」を指す`teacher`や、大学の「教授」を指す`professor`と比べ、`instructor`はより実技的な指導を行う人というニュアンスが強いのが特徴です。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③の`online`で、副詞として「オンラインで、インターネットで」、形容詞として「オンラインの」という意味を持ちます。コンピュータがインターネットに接続されている状態を表します。副詞の例: `I bought this book online.`（私はこの本をオンラインで買った）。形容詞の例: `The university offers several online degrees.`（その大学はいくつかのオンライン学位を提供している）。他の選択肢は、①`offline`が`online`の反意語、②`on time`が「時間通りに」、④`in line`が「列に並んで」という意味です。

◆補足：`online`は`on`と`line`（線、回線）が組み合わさってできた言葉です。「回線に乗っている」状態をイメージすると分かりやすいですね。`online shopping`（ネット通販）、`online meeting`（オンライン会議）、`online game`（オンラインゲーム）など、現代社会で欠かせない単語です。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「動く、引っ越す、感動させる」です。動詞の`move`は非常に多くの意味を持つ基本的な単語です。準2級レベルでは、物が「動く、～を動かす」、住居を「引っ越す」、そして人の心を「感動させる」という三つの意味をしっかりと押さえておくことが重要です。`Could you help me move this desk?`（この机を動かすのを手伝ってくれませんか?）。`They are moving to a bigger house.`（彼らはより大きな家に引っ越すところだ）。`The audience was moved to tears.`（聴衆は感動して涙した）。②～④はそれぞれ`invite`、`invent`、`visit`です。

◆補足：名詞の`move`は「動き、引っ越し、手段」といった意味です。`make a move`（行動を起こす）という表現もあります。形容詞の`moving`は「感動的な」という意味で、`a moving film`（感動的な映画）のように使われます。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③「～がない、～を免れている」です。`be free from`～は、痛み、心配、添加物といった、通常好ましくないとされるものが「存在しない、含まれていない」状態を表す熟語です。`This drink is free from sugar and artificial sweeteners.`（この飲み物には砂糖と人工甘味料が含まれていません）。

①「～で自由である」は`be free in`～など、②「～から解放される」は受け身の`be freed from`～、④「～から遠い」は比喩的な否定の`be far from`～です。

◆補足：`free`には「無料の」「自由な」の他に、「(好ましくないものが) ない」という意味があります。この意味を理解しておくと、`duty-free`（免税の）、`sugar-free`（無糖の）、`smoke-free`（禁煙の）といった多くの複合語の意味も推測しやすくなります。
